

ぶどう特報

No.7 H24. 6. 29
J A 中野市営農センター
J A 中野市ぶどう部会

- ◆べと病・晩腐病・灰色かび病の重要防除時期となっていますので、引き続き定期散布を心がけましょう。
(散布間隔を厳守する。死角や散布ムラのないよう、たっぷり散布しましょう。)
- ◆梅雨明けについては平年 7 月 21 日頃です。梅雨明け後は高温乾燥気味になりますのでご注意ください。

第 7 回 ぶどう農薬散布

品 種	露地ぶどう	
	7 月 10 日～7 月 15 日頃	前回から 10 日後 (落花 20 日)
散 布 薬 剤	水	1 0 0 ℓ
	ホライズンドライフフロアブル	4 0 g
	サムコルフロアブル 1 0	2 0 ml
散 布 量	散布ムラ、死角のないよう、たっぷり 4 0 0 ℓ 以上	
適 用 病 害 虫	べと病・晩腐病・褐斑病・黒とう病・ (クビアカスカシバ)	
注 意 点	① クビアカスカシバ等の主幹害虫発生園は、捕殺に努めたたっぷり散布する。 ② 果実への病害発生を防ぐため、摘粒を早急に実施し袋かけ・傘かけを早めに行う。 ③ 種なし栽培者の方は 7 月 10 日までに袋かけ・傘かけを実施する。 ④ 農薬散布の際は、隣接する園に注意し農薬飛散 (ドリフト) のないよう十分注意してください。	



クビアカスカシバ確認！！

- 成虫が確認されていますのでご注意ください。
- 特徴：①成虫はスズメバチに似ている。(蛾の仲間)
②幼虫は赤色をしている。
主枝や主幹に食入し虫糞を出す。
- 発生場所：
- ①昨年被害の大きかった所
 - ②農薬のかかりにくい所
 - ③粗皮の厚い所、凹凸部分
- 対応：①粗皮の間に産卵するため、粗皮削りは有効
②主幹にしっかり農薬散布する
②見かけたら補殺する

ぶどう特別散布《袋かけ・傘かけが遅れる場合、又はべと病・晩腐病の発生が心配な園》

品 種	露地ぶどう	
	7 月 20 日～7 月 25 日頃	前回から 10 日後
散 布 薬 剤	水	1 0 0 ℓ
	アミスター10 フロアブル	1 0 0 ml
	ライメイフロアブル	2 5 ml
散 布 量	散布ムラ、死角のないよう、たっぷり 4 0 0 ℓ 以上	
適 用 病 害 虫	べと病・晩腐病・灰色かび病・褐斑病・枝膨病・黒とう病	
注 意 点	① アミスター10フロアブルはリンゴの一部品種に薬害が発生するので注意する。 ② 袋かけ・傘かけを早急に実施する。 ③ 農薬散布の際は、隣接する園に注意し農薬飛散 (ドリフト) のないよう十分注意してください。	

【アメシロに注意！】

ぶどう園でアメシロの発生が多くなっています。

定期散布後、発生が見られる園では、アディオン水和剤 2,000 倍 (収穫 7 日前まで、5 回以内) の特別散布を実施して下さい。被害の大きい場合は被害部分を切除し焼却処分しましょう。

1 0 日間隔の薬剤散布を厳守し、病虫害予防に努めるとともに、安全安心な農産物の生産に努めましょう。

栽培日誌の記入も忘れずに。